


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

ふりがな	こじま けいぞう			
氏名	小島 慶藏			
所属	福井大学			
役職	福井大学オリブ研究会 会長			
活動エリア	関西、北陸、九州、中部、関東、四国、中国地方など			
連絡先	住所	〒		
	電話番号	090-4038-3487		
	メールアドレス	keizo.kojima.8888888@gmail.com		
キャッチコピー	地方創生でリッチになろう(地域住民が主役で目標を達成する事が大事です)			
自己PR	<p>●産(伊藤忠商事海外事業会社代表取締役社長)・官(舞鶴市役所産業振興監)・学(福井大学特任教授・福井大学オリブ研究会会長)勤務 ●18年前から「ふるさと財団・地域再生マネージャー」で海外と日本国内で実施</p> <p>●大自然を活かした地方創生 ●6次産業化も含めた産業創出・観光創出&ブランド創出 ●地方創生の出口戦略明確化、●GDP(域内創生産の増加) ●女性・若者・アクティブシニアの活躍場仕事づくり地域外への発信 ●大都会と海外からのヒト・モノ・オカネ・夢・インバウンドの呼び込み ●住民収入増加 ●定住交流口の育成拡大 ●担い手育成 ●オリブをイタリアで6年間、修行して、日本国内8都市で1万本以上を植樹栽培・6次産業化を実施中 ●オリブオイル・シニア(上級)ソムリエ ●農業者(16年前から1ヘクタール農業して農業委員会から正式認定) ●講演会講師は総務省講演会200名参加 ●長野県議会「これからの地方創生と海外戦略」530名参加 ●勉強会は5市町村で実施 ●著書「地方創生でリッチになろう!」中央経済社</p>			
関連ホームページ				アドレス

2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p>京都府京都市出身</p> <p>◆昭和49年 伊藤忠商事株式会社入社</p> <p>◆平成18年～平成22年 舞鶴市役所・産業振興監で出向勤務、地方創生勉強会「東八塾」開催</p> <p>◆平成18年～現在 ふるさと財団の地域再生マネージャーに認定(舞鶴市役所で3年間実施、上天草市で3年間実施、越前町で1年間実施)</p> <p>◆平成22年～現在 総務省地域力創造アドバイザーに認定(京都府宮津市でモデル事業4年間、福井市で1年間実施)</p> <p>◆平成22年 総務省・ふるさと財団の経済講演会の講師「商社マンの地域再生奮闘記」(1時間30分、200名参加)</p> <p>◆福井県庁産業労働部長(経産省商より出向者)と福井県内若手経営者を集めて地方創生勉強会「青龍会」を会長として開始</p> <p>◆平成27年～平成30年 経産省タウンマネージャーに認定(福井県大野市で4年間実施、地方創生勉強会「大野問答塾」開催)</p> <p>◆平成28年～現在 福井県庁の「ふくいブランド大使」</p> <p>◆平成28年 長野県議会で講演会の講師「これからの地方創生と海外戦略」(1時間30分、530名参加)</p> <p>◆令和元年 著書「地方創生でリッチになろう! 一成功する8つの心得」中央経済社 を出版</p> <p>◆令和3年 福井大学の総合自然教育センターで「オリブ園」を開設。</p> <p>◆令和3年～現在福井大学で福井大学オリブ研究会を設立。設立総会で福井大学オリブ研究会会長に選出。</p> <p>◆令和5年～現在 福井大学 「課題探求型プロジェクト授業」を講義中</p>
--------	---

● 観光	オリブ6次産業化を起爆剤として産業・観光創出をおこない、女性・若者・アクティブシニアの仕事づくりを実施してインバウンド客の増加を図り、移住・定住・関係人口の増加を図り、地域の担い手の育成もこころなう。
● 移住・定住・関係人口	オリブ6次産業化を起爆剤として産業・観光創出をおこない、女性・若者・アクティブシニアの仕事づくりを実施して移住・定住・関係人口の増加を図り、地域の担い手の育成もこころなう。
● 農林水産業	耕作放棄地の再生、及び、中山間地域の活性化のためにオリブ6次産業化の開始を起爆剤として産業創出・観光創出、ブランド化を推進して女性・若者・アクティブシニアの活躍の場をつくり、地域外から、ヒト・モノ・オカネ・夢・移住者を呼び込む
起業支援	
まちなか再生	
集落再生	(
環境	(
その他	(

4. ふるさと財団での実績

外部専門家(活用助成)	<p>◆2021年度 福井県越前町「若者夢おこしプラットフォーム構築事業」</p> <p>◆2013年度～14年度 熊本県上天草市「地中海化による観光再生・国際的6次産業創出事業」</p> <p>◆2012年度 熊本県上天草市「国際的6次産業創出・観光再生・地域人材育成プロジェクト」</p> <p>◆2006年度～08年度 京都府舞鶴市「地域内発型産業活性化プロジェクト事業」</p>
-------------	---

5. 取組内容・実績

取組内容・実績

<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : H18～20年 地域内発型産業活性化プロジェクト事業 (2)対象地 : 京都府 舞鶴市 (3)事業目的: 地域内の産業活性化と海外戦略、及び地域に担い手人材の育成 (4)事業内容: 舞鶴市の美しい大自然を活かして新規産業・観光創出を行った。地域内の新規業創出、及び、海外戦略も協議する勉強会「東八塾」を立ち上げ毎月開催した。新規産業の事業創出、輸出支援、農業の開発輸入案件なども協議して、海外航路(舞鶴港～韓国釜山港～中国の大連港)の新航路開設の調査、国際大型クルーズの舞鶴港への誘致、京都大学水産試験所長との連携取り組みも行った。 (5)事業による成果: ●中国の大連市の国際輸出商談会に市内企業と一緒に参加して、環境プラントの海水淡水化プラントの輸出契約(舞鶴市内企業の初の輸出契約10億円の成約支援に成功した。5年間で合計60億円の環境プラント(ゴミ焼却炉発電プラントなど)の輸出支援に成功。 ●日本初の国際大型クルーズを舞鶴港に誘致に成功した。舞鶴市長、京都府知事などと市民参加のクルーズセミナーを開催して、日本初の大船での市民ランチクルーズ、市民デザイナークルーズの会に開催して大型クルーズ船への理解を得た。海外から大型クルーズを舞鶴港に誘致すると舞鶴市内で1隻当たり6千万円の消費金額が見込める。平成29年に舞鶴港に約40船寄港に増加して約24億円(40隻×6千万円)のインバウンド効果となっている。 ●京都府知事と韓国ソウル市に出張同行して、新規海外航路(舞鶴港～韓国釜山港～中国の大連港)の開設支援に成功した。 ●舞鶴市の新規就農者を主役として、日本初の中国国内での胡蝶蘭の開発輸入に成功した。京都府立大学教授の協力も得て、中国国内の農園内で日本向け品種を開発して舞鶴港に輸入、温室栽培を行った。 ●舞鶴市内の酒造メーカーの若手経営者と中国に出張同行して、日本初の酒造メーカーから海外への日本酒の初の直接輸出500本の支援に成功した。(それまでは、酒類の専門商社が横浜で在庫して海外輸出をしていたので、酒造メーカーは輸出国などの情報が出来なかった。その後、各地域の日本酒造メーカーからの海外への直接輸出は急増化中となっている。) ●市内企業の濾過式家庭用浄水器、及び災害時用大型浄水器の開発と国際商談会で中国の大連市長に水を飲まれて話題になり、輸出支援、防災支援に成功。 ●舞鶴の観光支援(赤レンガジャズでの農業フスタ開催、市内への初のコンビニ誘致)など。</p>	<p>(1)事業名 : H25～28年 農林水産業の成長産業化による宮津の元気づくりプロジェクト (2)対象地 : 京都府 宮津市 (3)目的: 地域資源である「ナマコ」の生産拡大、及び海外販路の開拓により、ナマコの地域ブランド化を目指すとともに、遊休農地対策として、又加工品・健康食品や観光への広がりが高い「オリーブ」を新産業に位置付け、一大産地化への取り組みにより、自立した経済社会を目指す。 (4)事業内容: 【復活したナマコ加工品の生産拡大による特産化】 ●ナマコの資源管理、人工種苗育成による生産拡大、加工技術の伝承、販路確保、消費拡大、雇用創出などについて、協議連携、推進方策の検討を行った。 ●ナマコ会議の設立(参加団体:京都府漁業協同組合、宮津ナマコ組合、後藤商店、京都府立海洋高校、京都府海洋センター、京都府栽培漁業センター、宮津市など) 【オリーブの栽培と産業創出に向けた調査・研究】 ●国産品需要が高く、加工品観光への広がりの可能性も高い「オリーブ」を新たな産業の素材として位置付け、地元有志の植樹や生産グループの立ち上げ、オリーブの魅力を広く発信理解を深めるために市長と公民館を回って市民運動の展開を進めた。 ●アクティブ・シニアのグループ「由良オリーブの会」の設立支援し、オリーブ植樹植栽・6次産業化を推進した。 (5)事業による成果: ●社会的な成果: 由良オリーブの会が結成されて地域の活性化・元気づくりに寄与している。 ●経済的な効果: 平成26年度産の乾燥ナマコは前年の2倍増になっている。「オリーブ」は植樹・植栽開始後4年目でオリーブオイル搾油が開始され、オリーブオイル搾油販売の初年度で販売開始後1週間で完売して1千万円の売上利益となった。</p>
<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : H24～26年 地中海化による観光再生・国際的6次産業創出事業 (2)対象地 : 熊本県 上天草市 (3)目的: 大自然の美しい普賢岳の見える有明海を活かして、新規産業・観光創出を国際的に魅力ある都市づくり、人材育成 (4)事業内容: オリーブ6次産業化による産業創出、雇用創出と海外との姉妹都市連携による観光の推進 (5)事業による成果: 「弓ヶ浜オリーブランドプロジェクト」の開設支援、イタリア・シチリアとの姉妹都市提携支援を開始した。勉強会「昇龍会」、「地中海倶楽部」の立ち上げ開催。オリーブのcafe&レストラン「リソラテラス」の開設支援。</p>	<p>(1)事業名 : H27年～30年 街中再生事業 タウンマネージャー設置事業 (2)対象地 : 福井県 大野市 (3)目的: 白山の見える寒冷地での美しい街づくり (4)事業内容: ●大野の美しい大自然を活かして郊外から中心市街地までの地域再生と地域の担い手の人材育成を大野商工会議所、大野市長、部長に提案して開始。 ●大野市内の30か所で「オリーブの植樹と試験栽培」を実施。(春日神社、商店街、カフェ、レストラン、ワイナリー、郊外、六呂師高原で試オリーブ栽培を実施) ●「大野問答塾(ダイヤモンド塾)」を立ち上げ、毎月開催。(顧問:大野商工会議所会頭、塾長はタウンマネージャーの小島慶蔵) ●大野問答塾で大野市の課題を意見交換・情報交換して方策を考えて改善策を実施。 ●市内の主要企業、施設を訪問、意見交換、対応策の提案、実施支援。 ●福井大学の「これからの地方創生と国際戦略」(小職の講義)の最終日講義として学生20名を大野市にフィールドワークを実施(午前中、大野商工会議所で会頭と座学、午後から郊外、市内中心市街地、事業所などを見学、大野市民にも意見交換した。) ●さかだに区長会で役員の方々にオリーブのプレゼン実施 ●大野市の農協組合長と幹部にオリーブのプレゼンを実施。 (5)事業による成果: ●市内各所で3年間のオリーブ試験栽培の冬越しに成功して大野市役所の一村逸品チャレンジ・ファンドの対象品目に追加された。 ●豪雪地としてのオリーブ栽培の成功で福井県内でオリーブが積極栽培されるようになった。 ●越前大野城が日本の「天空の城」として認知度が高まった。</p>
<p>上記以外の取組内容・実績</p> <p>(1)事業名 : 三里浜の砂丘農地の活性化(2)対象地 : H29年 福井県 福井市 (3)目的: 砂丘農地での付加価値作物「オリーブ」6次産業化プロジェクト (4)事業内容: ●海岸近くの三里浜はラッキョウなどの農作物しか生育できない砂丘状の農地となっていた。三里浜砂丘農地でオリーブ植樹・植栽と6次産業化を開始した。 ●三里浜の公民館で市役所農林水産課と一緒に地域住民の方々に「オリーブ」の説明勉強会を半年間、開催して、地域住民の方々の理解を得て、本格的に「オリーブ植樹・栽培」を開始した。 ●2年目に地域農民の方々が三里浜合同会社として積極活動中。植樹開始後3年目にオリーブ搾油機も設備され6次産業化、ブランドづくりも開始。 (5)事業成果: ●現在、オリーブ植樹植栽本数は3,000本となり積極的に拡大中。 ●オリーブのブランド化、製品づくりも進み、毎年、オリーブ収穫祭、オリーブ感謝祭を開催して地域の若者・女性・アクティブシニアの参加者も増加中。 ●福井の新しい産業としても注目を集めている。</p>	